

第21回（平成18年度）
商業経済検定試験問題
〔商品と流通〕

解答上の注意

1. この問題のページは2から16までです。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
3. 問題用紙の表紙に受験番号を記入しなさい。
4. 文字または数字で記入するもの以外はすべて記号で答えなさい。
5. 計算用具などの持ち込みはできません。
6. 制限時間は60分です。

※ 試験終了後、問題用紙も回収します。

① 次の文章を読み、問いに答えなさい。

現代社会では、生活を維持し、向上させるためにさまざまな商品が生産され、消費されている。その結果、大量の廃棄物が排出され、しかも、自然界が処理できない素材でできた商品も廃棄されるようになってきたことから、それらをどう処理するかが緊急の課題となっている。こうした事態を背景に、使用済みのものを再資源化して別のものに作りかえて再利用することやごみになるものの量を減らすこと、あるいは(a)使用済みのものを再使用することなどが法律によって進められるようになってきている。

また、二酸化炭素やメタン、フロンなどの温室効果ガスの大量排出は、地球温暖化と呼ばれる深刻な問題を引き起こしている。この地球温暖化の防止に向けては、世界的規模の対応が始まっており、わが国でも、まずは身近なことから始めるという考えのもとに動き出している。例えば、政府はクールビズやウォームビズ、あるいはチームマイナス6%といった取り組みなどを積極的に推進している。一方で、化石燃料に代わるエネルギーとして風力発電や(b)生物資源を利用したバイオマス燃料などの研究・開発を行ったり、森林の保全・整備や屋上緑化などに関わる施策も講じたりしている。企業もまた、製造や販売などの段階だけではなく、(c)原材料の仕入れ段階でも、法律に則^{のそ}って、環境に配慮した活動を行うようになってきている。

しかし、こうした取り組みを行っても、期待通りの効果が得られないのが現状である。そのため、私たち一人ひとりが、環境問題に対する意識を高め、生活スタイルを改善していくことが強く求められている。

問1. 下線部(a)をとくに何というか、カタカナ4文字で正しい用語を記入しなさい。

問2. 下線部(b)について、現在わが国で進められている取り組みは何か、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. サトウキビやトウモロコシなど植物原料の搾^{しぼ}り汁をアルコール発酵させ、それを蒸留して作ったエタノールを自動車の動力源として利用すること
- イ. 都市ガスから水素を取り出し、空気中の酸素と化学的に反応させて作った電気を給湯機器の発電装置として利用すること
- ウ. 火山地帯の地中に存在するマグマだまりから取り出した蒸気を、空調システムの熱源として利用すること

問3. 下線部(c)に記されている法律を何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 消費者契約法
- イ. 特定商取引法
- ウ. グリーン購入法

② 次の文章を読み、問いに答えなさい。

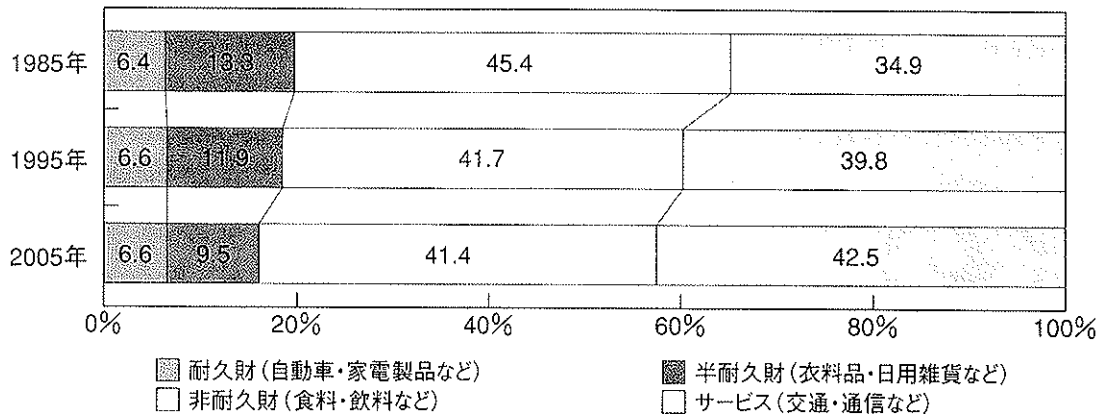
下のグラフは、消費支出を商品とサービスとに分け、商品についてはさらに耐久度により耐久財、半耐久財及び非耐久財の3つに分類して、その構成比の推移を示したものである。

これによると、(a)半耐久財への支出の割合は減少傾向にあることがわかる。また、食料が大部分を占める非耐久財への支出の割合も同様の傾向が見られる。

一方、サービスへの支出の割合は増加傾向にあることがわかる。これは、教養娯楽分野や(b)情報通信分野への支出の増加などの影響を受けたものといえる。また、耐久財への支出の割合は最も低いものの、社会環境の変化や技術革新の進展などを反映して、概ね6%台で推移している。

このように、近年の家計の消費支出は、(c)衣食を中心とした生活必需品への支出を安上りに済ませて、個性的なライフスタイルを実現してくれる商品やサービスへの支出を増やしているという傾向をうかがい知ることができる。

1世帯あたりの商品・サービス別消費支出の構成比の推移（全国・全世帯）



(出所：総務省「家計調査」より作成)

問1. 下線部(a)の理由の一つとして、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 衣料品の場合、中国をはじめとするアジア諸国からの輸入が増加し、下着類や若者向け衣料を中心に、安く商品を手に入れることができるようになってきたから。
- イ. 衣料品の場合、手作り志向の風潮により、大規模小売商での手芸用品の品揃えが豊富になり、既製服よりも安価な生地を容易に購入することができるようになってきたから。
- ウ. 衣料品の場合、防シワ・防縮性をもたせた商品が登場し、洗濯やアイロンがけなどによる劣化の軽減が可能になり、商品を長く使用することができるようになってきたから。

問2. 下線部(b)の背景として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 防災意識の高まりにより、電池のいらぬ多機能ラジオを常備する家庭が増加してきたこと
- イ. 高齢社会の進展により、安全で安心なオール電化住宅が増加してきたこと
- ウ. パソコンや携帯電話などの普及により、インターネットの利用者が増加してきたこと

問3. 下線部(c)は一般に何と呼ばれているか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 消費の高級化
- イ. 消費の二極化
- ウ. 消費の平準化

③ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

消費者にとって、商品に付けられている表示やマークはとても便利なものである。これは、その商品の機能や品質が保証されていることが一目でわかるからである。

例えば、電気製品の場合、不良品であれば重大な危険にさらされることもあるため、安全性の表示やマークはとても重要な意味をもつ。そこで、(a)2001年4月から電気用品安全法が施行され、メーカーや輸入業者に安全性の検査を求め、合格した商品には国が定めた技術上の基準に適合した旨のマークをつけて販売することが義務付けられるようになっている。これは、電気製品による事故から消費者を守ることを目的としている。さらに、構造や使用方法その他の使用状況からみて、とくに危険または障害の発生するおそれが多い電気製品についての適合性検査にあたっては、(b)商品流通の促進を担う国の行政機関の認可を受けた国内登録検査機関、もしくは外国登録検査機関が行うこととしている。

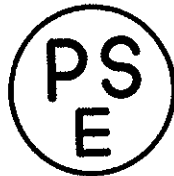
このように、電気製品には安全であることを示すマークが付けられるようになっており、多様な電気製品が流通している昨今では、このマークの有無を確認し、商品を選択することが、安全で快適な生活を送るための目安の一つとなる。

問1. 下線部(a)に記されているマークとして、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア.



イ.



ウ.



問2. 下線部(b)に記されている行政機関として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. 総務省 イ. 法務省 ウ. 経済産業省

④ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

最近、総合スーパーやコンビニエンスストアなどでは、全国展開している有名メーカーのブランドを付けた商品に加えて、(a)販売力を背景に、メーカーと共同で企画・開発を行い、小売商自身の独自のブランドを付けた商品を販売している。これらの商品の種類は、食料品、日用品、衣料品など多岐にわたっており、小売商にとってさまざまな利点がある。

例えば、小売商は、店頭での販売活動を通じて収集した消費者ニーズを迅速かつ確実に商品づくりに反映させることができる。また、委託先のメーカーから、共同で開発した商品を直接仕入れるため、中間コストの削減が可能になり、販売価格を引き下げたり、高い**(b)粗利益(マージン)**を確保したりすることができる。さらに、(c)消費者からの支持を得るための販売促進がうまくいけば、そのブランドに対する関心や信頼が高まり、店頭で自社の商品を迷わず手に取って購入する顧客を増やすことができる。

しかし、商品が消費者に受け入れられなければ、大量の在庫品を抱え込むことになるので、小売商にとって収益を最大化するには、取り扱う商品の特性を理解し、適切な商品の品揃えと価格戦略で販売することが重要である。

問1. 下線部(a)を一般に何というか、カタカナ6文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)とは何か、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 仕入価格に仕入諸掛を加えたもの
- イ. 販売原価に見込利益を加えたもの
- ウ. 営業費に見込利益を加えたもの

問3. 下線部(c)に示されている消費者の購買行動を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 指名買い
- イ. 衝動買い
- ウ. まとめ買い

㊦ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

2007年のわが国のプロ野球は、全球団がチャンピオンし、優勝を目指し新たなスタートを切った。去年は、セントラルリーグ、パシフィックリーグともにさまざまな話題を提供し終了したが、今年はどうのようなシーズンになるのだろうか。

さて、プロ野球は、強いチームを作り優勝を勝ち取ることが最大のファンサービスである。また、観客から入場料を受け取り、最高の技術に裏打ちされたプロの試合を見せることがサービスの基本である。そして、(a)そのサービスを楽しむためには、その場に居合わせなければならず、ファンは球場に足を運ぶことで、プロならではのプレーを思う存分味わうことができるのである。したがって、各球団は、多くのファンに球場へ足を運んでもらえるようサービスの充実を図っている。

例えば、A球団では、球場へ来たファンに対して、試合当日に選手のサイン会を行い、監督も自らサインに応じている。また、チケットを購入したり、試合を観戦したりするごとに(b)ポイントが付加され、そのポイントの合計を距離に換算することで、提携している航空会社の航空機を利用する際には、その距離に応じて特典がつくサービスを実施している。現在では高速道路・ホテルの利用や他の買物をした際、このサービスが行われており広く利用されている。

今年から、新方式でプロ野球日本一を決定することになり、最後まで目の離せない優勝争いが繰り広げられるであろう。各球団が、強いチームを作り、ファンサービスを一層推進していくことで、わが国のプロ野球がさらに発展していくものと期待されている。

問1. 下線部(a)に示されているようなサービスの特徴は何か、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 均質性
- イ. 貯蔵性
- ウ. 参加性

問2. 下線部(b)のようなサービスを何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. オンデマンドサービス
- イ. マイレージサービス
- ウ. ポータビリティサービス

⑥ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

人が誕生し、乳幼児期・児童期・青年期・成人期をたどり、やがて老いていくように、商品にもライフサイクルがある。なかには、売上げが伸びずに短い期間で生産中止に追い込まれる場合もあるが、商品のライフサイクルは一般に、次に示す導入期から衰退期までの4つに区分できる。

導入期は市場で商品が出回り始めた時期である。商品の長がまだ消費者に浸透していないため、多くの売上げは望めない。そこで、企業は(a)消費者に直接働きかけて、売り出して間もない商品の需要を喚起する販売促進活動を行う。その売り込みの方法は商品によって異なるが、消費者の支持を得られた場合には、次の成長期に入る。

成長期は商品が市場で受け入れられる時期である。急激に売上げが伸び、新たに市場に参入する企業が増えて、ますます競争が激しくなる。このような企業は(b)二次的な効用を高めて市場性に配慮した商品を提供することで、市場に食い込もうとする。

成熟期は商品が市場に普及する時期である。売上げの伸びは鈍くなる。したがって、この時期では、(c)競争企業は売上げを維持しようと新たな販売戦略を行うが、売上げが減少に転じていく場合がある。

衰退期は市場から消えていく時期である。技術革新による新商品の誕生や消費者ニーズの変化といった理由から、急激に売上げが減少し、企業は市場からの撤退を検討することになる。

このような段階を経て、商品はその寿命を終えることになる。

問1. 下線部(a)にはどのような一例があるか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 販売員が店内で商品の破損の有無を点検する。
- イ. 販売員が店内で端末を操作して発注する。
- ウ. 販売員が店内で試供品(サンプル)を配布する。

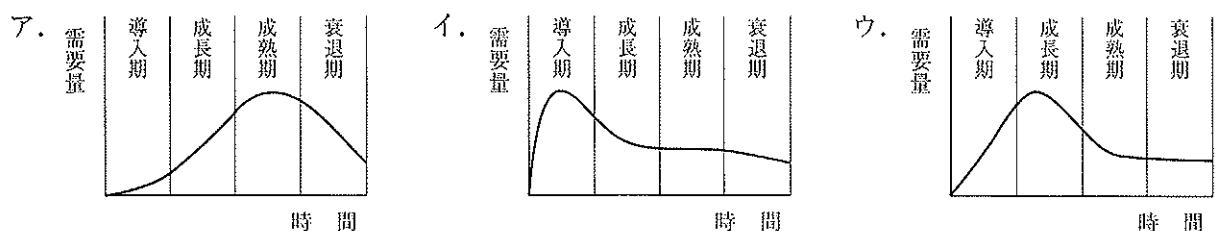
問2. 下線部(b)はどのような商品か、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 商品の本来もつ基本的な機能が、間違いなく働くようにした商品
- イ. 外観のデザインやカラーを変えて、売上げを期待できるようにした商品
- ウ. 消費者が自分のために使用したにもかかわらず、第三者にも影響を及ぼす商品

問3. 本文の主旨から、下線部(c)の内容は何か、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 新規需要よりも、買い換え需要や買い増し需要の獲得に重点を移す。
- イ. 買い換え需要や買い増し需要よりも、新規需要の獲得に重点を移す。
- ウ. 買い増し需要よりも、新規需要や買い換え需要の獲得に重点を移す。

問4. 本文の主旨から、導入期から衰退期までの需要量の変化を示す一般的なグラフの曲線として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。



㊦ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

次々と発売される新商品は、消費者の生活の向上に役立っている。そして、これらの商品は生産者(以下、メーカー)の商品開発によって生み出されている。

商品開発では、いかに新商品となりうるアイデアを出せるかが重要となる。まず、メーカーは消費者から意見を収集して、そのニーズの把握に努める。こうするなかからアイデアのヒントを見つけ、それをもとに商品開発がなされるのである。また、(a)メーカーが生み出した特別な技術や素材を活かして商品開発がなされることがある。この場合は、消費者自身でさえニーズとして意識していないような斬新なものが商品化されることもある。

いずれにしても、本当に新商品が、市場で消費者に支持されるかを見極めるのは難しい。そこで、(b)メーカーは消費者の反応を探ることを主たる目的に直営の店舗を設けることがある。このような店舗は各地の特産品を大都市圏で流通させるための窓口として設けることもあり、消費者の情報を収集する手がかりとして活用されている。

こうした段階を経て発売に踏み切った結果、その商品が長い期間にわたり、安定した売り上げを保てるなら、商品開発にあたったメーカーにとっては喜ばしい。しかし、実際には(c)消費者ニーズがさまざまであるために、限定された需要に対応した生産をしなければならないメーカーも多いのである。こうしたことから、生産方式の改善を進めているメーカーもある。

それでも、商品が利益を生み出す源泉であることに変わりない。今後もメーカーは自らの存続をかけて、商品開発に力を注いでいくことだろう。

問1. 下線部(a)に記された商品化の事例として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. あるインスタントラーメンメーカーは現地で生産して販売する方針をたて、それぞれの地域の人々に受け入れられる味を調べて、地域ごとに特色のあるカップめんを作った。
- イ. ある氷菓メーカーは独自の製氷方法により、ほどよい口溶けとすっきりとした味わいを実現して、搾りながら吸うように食べる口栓付きパウチ容器入りアイスクリームを作った。
- ウ. ある飲料メーカーは多くの消費者からアンケートをとり、本物志向や健康志向にこたえたものが受け入れられると確信して、品質にこだわった無糖の缶コーヒーを作った。

問2. 本文の主旨から、下線部(b)に記されているような店舗を何というか、カタカナ4文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 下線部(c)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 製造コストを抑えやすいが、品質や形状などが統一され個性のない少品種大量生産
- イ. 商品に違いを出せて売り上げに結びつくが、生産効率の上がない多品種少量生産
- ウ. 稀少価値の高い商品を生み出せるが、代替品が存在しない少品種少量生産

㉔ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

今日では、株式の売買が身近なものになってきている。

株式の売買は、通常、証券会社を通じて証券取引所で行われる。つまり、投資家は、(a)証券取引所の基準を満たして取引所での売買を許された株式銘柄について証券会社に売買注文を出し、それを受けた証券会社が、注文の内容を証券取引所に取り次ぐことになる。そして、証券取引所では、各証券会社から伝えられた売買注文をコンピュータで処理し、売買を成立させていく。このような仕組みにより、株式の売買は、公正な価格で、しかも迅速かつ能率的に行われている。

最近では、パソコンや携帯電話などで、(b)インターネットを利用して証券取引を行うこともできるようになり、個人を中心に、いつでも、どこでも売買ができる利便性が好評である。また、投資情報も入手しやすくなっていることも魅力になっている。さらに、(c)このような形態の取引では、証券会社にとっても大きな利点があるため、その分、手数料を引き下げることができ、この点も投資家の人気の一因となっている。

こうした動きを反映して、夜間であっても株式の売買ができるネット上の証券取引所を開設する構想が相次いで打ち出されており、投資家にとっての利便性が今後ますます高まっていくことが予想される。

問1. 下線部(a)を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問2. 下線部(b)は一般的に何と呼ばれているか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

ア. ホームバンキング イ. オンライントレード ウ. ウェブショッピング

問3. 本文の主旨から、下線部(c)に示されている利点とは何か、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 室内での営業事務が増加し、高齢者や専業主婦を積極的に雇用することができること
- イ. 株式市場の活性化を促すことを目的として、政府から資金援助を受けることができること
- ウ. 投資家が手軽に株式の売買を行えることから、新たな顧客層を開拓することができること

㉕ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

携帯電話やパソコンなどの機器は情報通信技術の進展で用途を広げ、情報の共有を可能にし大いに利用されている。

さらに、これからの時代は(a)ユビキタス(ubiquitous)社会になりつつあるという。例えば、現在でも遠く離れた場所から携帯電話で自宅のエアコンや照明、パソコンを操作でき、パソコンにあらかじめ食材情報を入力し冷蔵庫に送信しておけば、食材の数量や賞味期限の確認ができるのである。このようにさまざまな機器が、(b)私たち一人ひとりの欲求に応えるために用途を広げ、サービスや情報という新しい価値を付加した商品になっていくことで、私たちの生活は利便性を一層高めることになる。

将来の社会がどのようなようになっていくかはわからないが、情報通信技術の行き着くところは、こうした社会の実現であるのかもしれない。

問1. 下線部(a)の説明として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. さまざまな機器が故障してしまってもすぐに廃棄せず、修理を繰り返すことで自然環境の悪化に対して配慮した社会
- イ. さまざまな機器の機能や使い方を説明できるボランティアが高齢者世帯を訪問し、定期的に人を支援できるようにした社会
- ウ. 人々が生活するあらゆる場所でさまざまな機器を情報通信をできる環境にしておき、それをあまり意識することなく利用できるようにした社会

問2. 下線部(b)のことを何というか、カタカナ3文字を補って正しい用語を完成させなさい。

10 次の文章を読み、問いに答えなさい。

原始社会では、人々は家族や氏族といった集団を単位として生活をしてきた。その際、必要なものは、狩猟・漁労・植物採取やごく簡単な植物の栽培といった方法で手に入れ、それを消費する自給自足の生活を送っていた。

時代が進み、(a)人々は、自分たちの欲しいものと相手の欲しいものを交換するようになった。その結果、以前より豊かな生活ができるようになっていった。この物々交換は、市ができることで促進されていったが、必ずしもお互いに満足できる交換が成立したわけではない。そこで、この交換の不便さを取り除くために、初めは米・布・毛皮といったものが物品貨幣として用いられ、その後、保存や持ち運びに便利な金・銀・銅などの金属貨幣が用いられるようになった。

このように、貨幣が登場し取引が活発に行われるようになると、(b)人々は取引することを前提として、自分の得意な仕事に従事するようになった。このことを背景として、生産者から商品を買取り、それを消費者に売り渡すことを専門に行う商人が登場した。

その後、鎌倉時代に入ると、商人は常設の店舗を設けるようになった。また、江戸時代になると、大坂(大阪)や江戸では大量の商品の取引が行われ、問屋とよばれる商人があらわれた。問屋は、次第に商品を買取り小売商に販売する卸売商としての性格をもつようになっていった。さらに、この時代には現金の預金、米の保管、(c)遠隔地との情報のやりとりをする通信にあたる仕事なども整備されていった。

このようにして、時代の流れとともに私たちの経済社会は形成され、現代のような発展を遂げているのである。

問1. 下線部(a)のようになった主な理由として、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 農作物の新種の発見により、季節をずらして収穫できるようになったため。
- イ. 農作物を耕作する道具が進歩したことで、余剰生産物ができるようになったため。
- ウ. 農作物の害虫を駆除することができる薬剤を、作り出すことができたため。

問2. 下線部(b)を何というか、漢字2文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 下線部(c)は江戸時代には何と呼ばれていたか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 飛脚
- イ. 両替商
- ウ. 蔵元

㉒ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

消費者の意識の変化により、消費者ニーズに対応したさまざまな業態の小売商が増えている。

その一つとして、(a)医薬品を中心に、化粧品・衛生用品などの健康・美容関連用品から洗剤やトイレットペーパーなどの日用雑貨まで幅広く品揃えした店舗が、私たちのまわりに増えており、市場規模は急速に拡大している。

この業態で事業を展開しているX社は、独自に商品を開発し、統一したブランドを用いて販売を行い、そのなかにはヒット商品が生まれている。X社は、各種の特典がつく会員カードを発行しており、さらに(b)「かかりつけ薬局」を目指し、顧客が転居しても、最寄りの自社の店舗で以前にどの薬を購入したかがすぐにわかるようにしている。

すでに、一部の医薬品がコンビニエンスストアで販売できるようになっているが、薬事法の改正により、薬はリスクによってA、B、Cのランクに区別されることとなる。リスクの高いAランクの薬については、これまでと同様に、薬剤師が(c)顧客に対して直接、相談にのりながら、向かい合って販売することが義務化された。これにより、顧客は薬の効能、服用方法や副作用などの情報やアドバイスを得て、自分の症状に適合した薬を選ぶことができる。一方、リスクの少ないBやCランクの薬については、販売従事者となるための資格試験が導入され、その合格者が販売にあたるようになる。

このように、この業態を取り巻く環境は変化し、他の業態が医薬品を取り扱うことが予想され、新たな対策も検討されている。

問1. 下線部(a)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. ドラッグストア イ. ホールセールクラブ ウ. コンセプトショップ

問2. 下線部(b)は何を目的にしていると考えられるか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

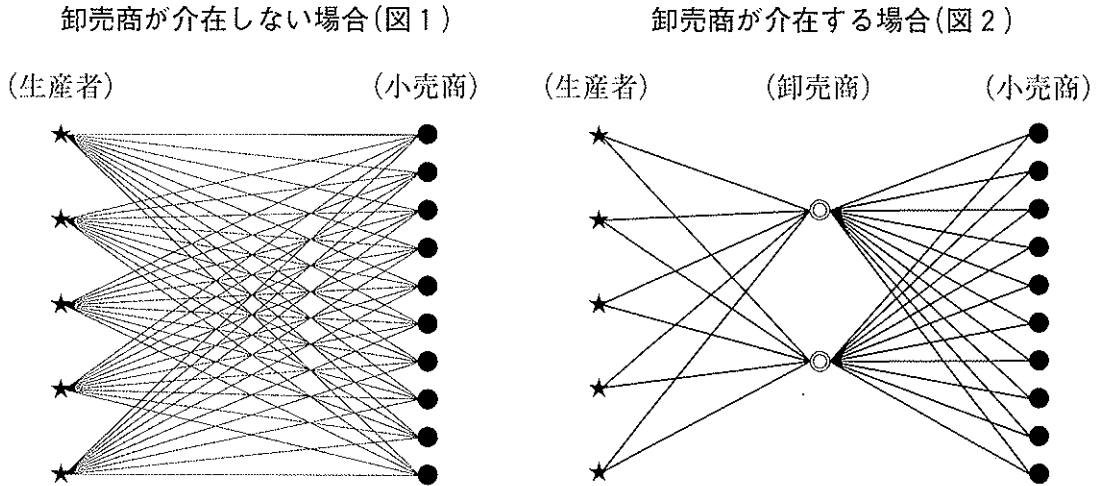
- ア. 顧客が購入した薬の合計量を知り、厚生労働省に報告するための資料を作成すること
イ. 顧客に便宜を図ることで、継続して来店してもらうようにすること
ウ. 顧客の使った薬の量を把握することで、適正な在庫量を保つこと

問3. 本文の主旨から、下線部(c)のような販売方法を一般的に何というか、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 訪問販売 イ. 対面販売 ウ. セルフサービス

⑫ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

卸売商は、商品の流通において中心的な役割を担っており、このことは図1と図2を比較することでわかる。すなわち、それぞれの直線で示したように取引すると、卸売商が介在することによって、総取引数が減少し一回の取引量が増えることから卸売商の存在意義がわかる。



ところで、一部の大規模小売商は、生産者と直接取引を行うことで低価格販売を実現しているが、わが国の小売商は、小規模・零細なものが多く、(a)卸売商が流通段階において中間在庫を形成する仕事を担当することで、商品の量や組み合わせを考えた販売が可能となっている。また、小売商の業績を向上させることを目的として、卸売商は(b)新商品情報の提供、売り場づくりの提案、従業員教育などの経営支援活動を行っている。こうした卸売商のなかには、(c)世界各地に営業拠点をおき、優れた情報網と資金力を活かして、商品の輸出入にとどまらず、「インスタントラーメンから人工衛星まで」と表現されるように、幅広い商品を扱い、さまざまな事業に携わっている大規模な卸売商もある。

私たちが、世界のいたるところで生産されたさまざまな種類の商品を、日本に居ながらにして手に入れることができるのは、こうした卸売商の存在が大きいのである。

問1. 下線部(a)の内容について、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 卸売商が、小売商や消費者からの商品に対する意見や苦情を生産者に伝えることで、新商品の開発に貢献すること
- イ. 卸売商が、商品の品質や性能について事前に点検することで、その安全性を高めて保証すること
- ウ. 卸売商が、大きな倉庫をもたない小売商に代わって商品を保管し、その結果として小売商の倉庫の役割を果たすこと

問2. 下線部(b)を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. ディスクロージャー
- イ. リテールサポート
- ウ. ローコストオペレーション

問3. 下線部(c)に記された卸売商を何というか、漢字4文字で正しい用語を記入しなさい。

⑬ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

私たちは商品を購入する場合、店舗を構えた小売商を利用することが多いが、現在では、通信販売を利用する機会が増えてきている。

例えば、(a)テレビではインフォマーシャルという広告をかねた番組が増えてきている。このような番組は私たちを引きつけ、気がつくとテレビ画面に見入ってしまうことがある。

また、通信販売業者によるネット販売も注目されている。これは、インターネット上のwebページに開設されたバーチャルショップ(仮想店舗)や、バーチャルモール(仮想商店街)に出店し商品を販売するものである。この販売方式は、webページへのアクセス数が売り上げを左右する。そこで、(b)広告主のwebページへ誘導することを目的とした広告を掲載することがある。横長の長方形をした旗状のものがほとんどで、そこをクリックすると広告主のwebページにリンクする。

このように、自社の商品が消費者の目に触れる機会を増やすことは重要である。しかし、ネット販売という販売方式のあり方が、消費者に支持されるものでなければ売り上げにつながらず意味はない。そうしたなか(c)書籍を中心にさまざまな商品を扱うネット販売業者のA社は、店舗を構えた書店にはない特長をもつことから売り上げを伸ばしている。店舗では陳列スペースが限られているので販売効率を考えなければならないが、webページ上の売り場では陳列スペースをとらずに、限りなく広くできることが強みになっている。消費者の便宜を図れるという点で優れたビジネスモデルといえるであろう。

このように通信販売といっても、今やひと括りにできないほどの広がりを見せ、さまざまな形での販売がされるようになってきている。

問1. 下線部(a)の例として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 消費者をあきさせない工夫をしながら、一つひとつの商品を丁寧^{ていねい}に紹介していくテレビショッピングの番組
- イ. 行く先々の旅の風情^{かぜい}や情緒を楽しみながら、リポーターが立ち寄った店の特徴を郷土色豊かに紹介していく旅の番組
- ウ. 商品を開発する舞台裏のように現実の記録をたどりながら、最新の事情を紹介していくドキュメンタリーの番組

問2. 下線部(b)に記された広告を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 実物広告
- イ. バナー広告
- ウ. ダイレクトメール広告

問3. 本文の主旨から、下線部(c)に記された特長はどのような内容か、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 書店では品揃えできない読者が限られた専門の書籍でも、webページなら品揃えができる。
- イ. 発売されたばかりの書籍でも、電子メールで定期的に配信することで情報の提供ができる。
- ウ. 過去に売り上げた書籍でも、蓄積された販売履歴のデータから個別に一覧できる。

④ 次の文章を読み、問いに答えなさい。

近年、鮮度重視の生鮮食料品やエレクトロニクス関連の精密部品など、航空貨物に適合する商品が増えてきたことから、(a)航空機を使って行う輸送に対するニーズが急速に高まっている。そのため、物流各社が顧客獲得に向けてサービス内容を競い合っている。こうした物流サービスを提供する中心的な場所が空港であり、ここ数年、新たに空港を建設したり、空港施設を充実させたりするなどの動きが見られる。

例えば、2005年2月には、万国博覧会にあわせて中部国際空港が開港した。この空港は、伊勢湾沖の人工島上に設けられたことから、24時間いつでも旅客機や(b)貨物専用機が離着陸できるという利点をもっている。その利点を活かして、国内線はもとより国際線の乗り入れも増やし、航空輸送の利便性を高めている。

貨物輸送の面では、物流業務の作業効率を高めるために、国際貨物エリアと国内貨物エリアを隣接させて配置し、構内の移送の際には、(c)効率的な運搬・荷役・積み替えなどができるようにするために、一定の規格を満たす貨物専用の容器を利用している。また、十分な広さを確保した国際線の貨物倉庫の前面にトラックターミナルを隣接させ、荷主にとってリードタイムの短縮とコスト削減が実現できるようにしている。さらに、空港としては初めて一定期間、関税や消費税の課税が留保される総合保税地域に指定されたことにより、施設内で保税状態のまま輸入貨物の荷揚げや荷さばき、保管、(d)流通加工などが行えるようになり、地域間の輸送にも円滑に対応できるようにしている。

このように、中部国際空港では、さまざまな航空輸送の効率性への配慮によって国内はもとよりアジアの中継拠点空港となることを目指している。

問1. 下線部(a)にはどのような特徴があるか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 船舶輸送に比べて、輸送には時間がかかるが、一度に大量の貨物を輸送できるので、輸送コストが安くつく。
- イ. 船舶輸送に比べて、輸送コストは高くつくが、重いものを大量に遠くへ輸送するのに適している。
- ウ. 船舶輸送に比べて、重くて大きなものや大量の貨物の輸送には適さないが、遠距離を短時間で輸送できる。

問2. 下線部(b)のことを何というか、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. フレイター
- イ. ベリー
- ウ. トランパー

問3. 下線部(c)に記されている容器のことを何というか、カタカナ4文字で正しい用語を記入しなさい。

問4. 下線部(d)の役割として、次のなかから適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 半製品の簡単な組み立て、値札付け、セット組みなどを施し、付加価値を高める。
- イ. 商品を選び出し、仕向地ごとに振り分けや配置替えなどを行い、搬出しやすくする。
- ウ. 商品を破損・汚れから守り、一定単位にまとめ、運送しやすくする。

15 次の文章を読み、問いに答えなさい。

流通業界では、さまざまな情報媒体が商品管理に利用されている。そのなかでも、太さの異なる黒と白の縦縞模様で表示されるバーコードは、小売商のPOSシステムや、(a)小売商の店舗とチェーン本部や卸売商などを通信回線で結んだEOSに使用されるようになってから急速に各方面に普及し、産業界の情報のシステム化にはなくてはならないものになっている。そして、このバーコードの利用分野が拡大してきたことにより、さらに優れた特長をもつ情報媒体の開発に対するニーズが高まっている。

こうした動きを受けて普及しつつあるのが二次元バーコードである。これには何種類かあるが、国内では、右の図に示したような(b)QRコードが規格化され、生産現場では広く利用されるようになってきている。最近では、新聞や雑誌などの紙面でも目にすることが多くなってきており、(c)これを活用した企業と消費者との電子商取引が行われるようになってきている。例えば、コードリーダー機能を備えたカメラ付き携帯電話でQRコードを読み取り、文字を入力することなく、特定のアドレス(URL)に直接アクセスするといった利用方法がある。また、QRコード化されたチケットの情報を携帯電話で読み取り、ダウンロードしてから会場の入り口にある専用の読み取り機にかざして入場するといった利用方法などが広まりつつある。

QRコードの例



このような二次元バーコードの他、ICタグ(電子荷札)も注目されてきており、今後はこれらの情報媒体が流通活動のさまざまな場面で活用されるようになってくるであろう。

問1. 下線部(a)を導入する利点として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 発注を正確・迅速に行うことができ、業務の省力化と的確な商品補充に役立てられること
- イ. 容易に顧客情報を引き出すことができ、効率的に販売促進活動を行えること
- ウ. 商品に寄せられた苦情を詳細に知ることができ、即座に販売上の対応策を講じられること

問2. 下線部(b)にはどのような特長があるか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 情報内容が定型句による文字情報に限られているので、読み取りに要する時間を短縮することができる。
- イ. 導入のための投資負担が大きいのが、高額商品に貼り付けることで、より付加価値を高めることができる。
- ウ. より多くの情報内容をさまざまな大きさで表示でき、表面が少々欠けていても読み取ることができる。

問3. 下線部(c)に記されている電子商取引の形態は何と呼ばれているか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. B to B
- イ. B to C
- ウ. C to C

16 次の文章を読み、問いに答えなさい。

わが国は、サービス経済化が進展するとともに、新しいサービス業が次々と出現している。

人材派遣会社もその一例であり、人材を求める派遣先企業と、仕事に就きたい派遣社員の橋渡し役を務めている。こうした(a)人材派遣会社を通じた雇用形態は増加の傾向にある。とくに最近では、若年世代に限らず、シルバー世代も注目されている。この世代は長年培ってきた知識や技能をもつだけに、その人材の活用に力を入れている企業も多いという。

ところで、新しいサービス業を立ち上げ、成功させるために必要なことは何であろうか。それは、企業や人々のもつまだ表面に出ない欲求を知り、それを満足させるために迅速で的確な対応をすることである。また、(b)企業がこれまで購入していたパソコン、コピー機といったOA機器や、建築・運搬のための産業機械などを長期間にわたり賃貸するサービスのよう、すでにある「もの」をそれに見合う「サービス」にかえること(代替)を考えることも重要である。一方、(c)「もの」を「サービス」で補うこと(補完)を検討してみることも、ビジネスチャンスをつかむうえでのヒントになるであろう。

アイデアだけでビジネスとして成立するわけではないが、社会の変化や多様化する消費者ニーズを確実に把握し、先見性や創造性を磨くことで成功する可能性は広がっていくのである。

問1. 派遣先企業の立場でみた場合、下線部(a)のようになった主な理由は何か、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 期間を定めた契約であるので、必要な時に即戦力の人材を正社員より人件費がかからずに確保できるから。
- イ. 従業員一人あたりの労働時間を短縮することになるので、多くの人に雇用の機会を与えられるから。
- ウ. 業績が回復したら再び雇用するとの条件が示されているので、一時的に解雇することができるから。

問2. 下線部(b)のようなサービスを提供する業種を何というか、カタカナ3文字を補って正しい用語を完成させなさい。

問3. 下線部(c)の「もの」と「サービス」の関係の組み合わせとして、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 美容院とマッサージ
- イ. 書籍と図書券
- ウ. パソコンと音楽配信

17 次の文章を読み、問いに答えなさい。

現代社会のビジネス環境は、常に変化している。それだけ誰もが新しい技術やアイデアをきっかけに、ベンチャー企業として成功する可能性を秘めている。このような企業には、独立ベンチャーと企業ベンチャーの2種類がある。

まず、(a)独立ベンチャーは、一人または複数の独立した起業家が中心となって創業した企業であり、このなかには、ビジネスチャンスに恵まれ、規模を拡大し成長していく企業もあるが、とくに資金調達の面で問題を抱えている場合が多い。そのような企業は、(b)ベンチャーキャピタル、エンジェル、ベンチャー財団などから支援を受けることがある。また、マザーズやヘラクレスといったベンチャービジネス向けの新しい証券市場が開設され、調達しやすい環境を作っている。

次に、(c)企業ベンチャーは、すでに事業活動を行っている企業が積極的に導入している制度であり、社内にプロジェクトチームのような組織を編制する形態と、社外に新たな会社を設立する形態がある。

ベンチャー企業によって起業されたビジネスが、経済社会の発展に大きく貢献する可能性があるだけに、これらの育成はわが国にとっても重要な課題となっている。

問1. 下線部(a)に記されている起業家を何というか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. インキュベーター イ. インtrapreneur ウ.アントレプレナー

問2. 下線部(b)の説明として、次のなかから最も適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 株価の上昇による利益の獲得を目的に、有望なベンチャー企業の株式を買い取る企業
イ. 買収の危機にある有望なベンチャー企業の意を受けて、温情により株式を買い取る企業
ウ. 有望なベンチャー企業の株主に有利な条件を示し、目標数の株式を買い取ろうとする企業

問3. 下線部(c)を導入する企業にはどのような利点があるか、次のなかから正しいものを一つ選びなさい。

- ア. 年齢と経験年数を基準にして給与が支払われるので、社員が定年まで安心して取り組める。
イ. 迅速で柔軟な組織づくりができるので、事業活動の成功に向け社員が意欲をもって取り組める。
ウ. コンピュータネットワークでつながっているので、社員は自宅に居ながら仕事に取り組める。

商品と流通解答用紙

1	問 1			問 2	問 3

2	問 1	問 2	問 3

3	問 1	問 2

得 点

4	問 1				問 2	問 3
				ブランド商品		

5	問 1	問 2

6	問 1	問 2	問 3	問 4

7	問 1	問 2		問 3
			ショップ	

8	問 1		問 2	問 3
		銘柄		

9	問 1	問 2		問 3
		商品の		化

10	問 1	問 2		問 3
		社会的		

11	問 1	問 2	問 3

12	問 1	問 2	問 3	

13	問 1	問 2	問 3

14	問 1	問 2	問 3		問 4

15	問 1	問 2	問 3

16	問 1	問 2		問 3
			業	

17	問 1	問 2	問 3

受験場校		受験番号	
------	--	------	--

総得点	
-----	--

商品と流通模範解答 (各2点)

秘

得点

	問1			問2	問3
1	リ	ユ	ー	ス	ア ウ

	問1	問2	問3
2	ア	ウ	イ

	問1	問2
3	イ	ウ

16

	問1					問2	問3
4	プ	ラ	イ	ベ	ー	ト	ブランド商品 ウ ア

	問1	問2
5	ウ	イ

10

	問1	問2	問3	問4
6	ウ	イ	ア	ア

	問1	問2			問3	
7	イ	ア	ン	テ	ナ	ショップ イ

14

	問1		問2	問3
8	上	場	銘柄	イ ウ

	問1	問2			
9	ウ	商品の	ソ	フト	化

10

	問1	問2		問3
10	イ	社会的	分	業 ア

	問1	問2	問3
11	ア	イ	イ

12

	問1	問2	問3	
12	ウ	イ	総	合 商 社

	問1	問2	問3
13	ア	イ	ア

12

	問1	問2	問3		問4
14	ウ	ア	コ	ン	テ ナ ア

	問1	問2	問3
15	ア	ウ	イ

14

	問1	問2		問3
16	ア	リ	ー	ス 業 ウ

	問1	問2	問3
17	ウ	ア	イ

12

総 得 点	100
-------------	-----